



筭だより

校長 山崎 高志

怒りの連鎖を断ち切り、いじめの未然防止に取り組む

12月4日から10日は「人権週間」です。学校における人権教育の目標は、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面での具体的な態度や行動につながるようにすることです。ですから学校では、児童にいじめは人間として絶対に許されない人権侵害であることを理解させるとともにいじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に努めています。

しかし、いじめの問題は子供に起きている問題だけを片付けようとしてもどうにもならないということを日本アンガーマネジメント協会代表理事の安藤俊介氏が次のように語っています。

「怒りの感情は伝染します。特に力の強いところから弱いところへ流れていってしまいます。どういうことかという、私たち大人というのは世の中でいろんな怒りを受けます。怒りを受けると、それを家庭に持ち帰ります。家庭に持ち帰ってパートナーに当たり、親は子供に当たります。当たられた子どもは学校に行って弱い子をいじめます。いじめられた子は家庭に持ち帰って親に当たります。当たられた親は会社に行って同僚や部下に当たり、あるいはお店に行くと店員に当たります。当たられた人はまた家庭に持ち帰ります。こうやって延々とつながっていきます。誰かに怒りをぶつけられるとその人は、はけ口になりそうな誰かを探してしまうのです。怒りは連鎖してくるので、子供たちのイライラは親から流れてくるし、その周りにあるコミュニティーからも流れてきます。その怒りの根源を解決しないと、いじめはなくなるのです。でも、社会全体で一緒に取り組んでいけば、いじめはなくなります。」

怒りの根源を解決する取組方法の一つに「アンガーマネジメント」があります。「怒らなければいけないこと」と「怒らなくていいこと」の線引きをしっかりとすることが怒りをマネジメントするということです。

怒りのマネジメントで安藤氏が薦めているのは、①カッとなったときに6秒間待つこと。感情のピークは最大で6秒とされている。腹が立った瞬間から6秒以内に言う言葉は、ほぼ100%ろくでもない言葉なので6秒待つ。②6秒後に「許せる範囲内のこと」か「怒って当然のこと」のどちらであるかを考える。③「怒って当然のこと」であれば、「対応策は何があるか」と考える。以上の3つをトレーニングとして行うことだそうです。アンガーマネジメントがうまくなれば、「怒らなければいけないこと」に対してきちんと怒れるようになり、「怒らなくていいこと」に対して怒らずに済ませるようになります。

まず、大人が学校でもご家庭でもアンガーマネジメントを実践して、怒りの連鎖を断ち切りませんか。

12月の安全指導

生活指導部

12月の安全指導日には、行き先や帰宅する時間を約束する大切さについて指導を行います。夕方5時には日が落ちて、辺りが暗くなる時間が早くなっています。様々なご家庭の都合で、5時以降も外出をしているお子様も多いことと思います。また、冬休みに入り、平日からご家庭にいるため、お子様と直接行き先や帰宅時間を聞くことができないときもあると思います。そこで、学校では、日頃から家族に行き先と帰宅時間をメモで残したり、メールや電話をしたりすることの大切さを話していきます。

ご家庭でも、「行き先」「帰宅時間」について話し合い、ご家庭ごとのルールを作成していただければと思います。

The 筭オリンピック



1年生

「レッツダンス EX&パプリカ」1年生は、歌を歌いながら動きを覚えました。楽しく元気に踊ることができました応援ありがとうございました。



3年生「エイサーに思いをこめて〜一致団結2020」

ダンスリーダーを中心にたくさん練習に励みました。3曲にそれぞれの思いをこめて全力で演技をしました。



2年生

「GUTS×GUTS×GUTS」

2年生は元気いっぱいに、嵐の「GUTS」を踊りました。行進から踊りの振りの練習を重ね、本番では抜群の演技ができました。大きな声援ありがとうございました。



4年生 「Sounds the Flag ~全力★少年少女~」

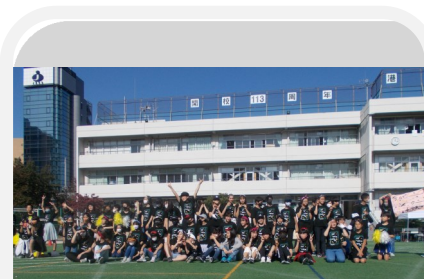
2本の旗でダンスを行いました。旗のなびく音を揃えて、一体感を表現しました。3曲目の「全力少年」の曲では、クラスごとにダンスを創作し、クラスの良さが感じられる演技でした。



5年生

「筭大漁ソーラン武士」

迫力のある南中ソーラン節。キレイなダンス。子どもたちが考えたアレンジ南中ソーラン節。自分たちで作った、素晴らしい演技になりました。



6年生「68人の協笑盛長」

話し合いを重ねて発表内容を決し、曲の選択や振り付けの工夫、チーム分けも子どもたち自身で行いました。筭小学校の最高学年として、新しい時代の新しい演技を創り上げました。

なかよし班活動

特別活動部

11月5日に、3回目のなかよし班活動が行われました。各班の班長を中心に、校庭や教室での異学年交流を楽しみました。



12月22日には、4回目のなかよし班活動を行う予定です。なかよし班の中での自分の役割を自覚し、自分たちで楽しい班活動が行えるよう工夫する姿を期待しています。

いじめ防止の取り組み

生活指導部

箕小学校では、毎月児童に向けて「学校生活アンケート」を行っています。そのアンケートでは、友人関係や学校生活に関する項目があり、いじめの兆候がつかめるようになっていきます。その結果は以下のようになります。

アンケートの結果（いじめの兆候の件数）

月	件数	解決済み	継続中
6月	3件	3件	0件
7月	0件	0件	0件
8・9月	2件	2件	0件

「件数」は、アンケートで分かったいじめの兆候の件数です。この件数には「自分の持ち物を勝手に使われてしまい嫌だった。」といったものも含まれています。「解決済み」は、すでに指導して解決したものの件数です。「継続中」は、指導後も引き続き見守りが必要な件数、または児童の数です。このアンケートを基に、教員間で情報を共有することで、いじめの防止に取り組んでいます。

また、管理職と教員でいじめ対策委員会を開き、児童の気になる状況などについても共有しています。そこでは教員の目から見た子供たちの状況を話し合い、必要と判断した場合、全員で対応にあたります。

大人と子供の両方の視点で見ていくことで、いじめの未然防止に努めています。

特別支援教室担任交代のお知らせ

12月1日（火）より育児休業中だった金子 佐和子教諭が復職いたします。それに伴い、育休代替の宇野 英理子教諭が11月30日（月）付で退職となりますのでお知らせいたします。

大縄月間について

健康教育部

11月11日～12月9日を「大縄月間」として全校で「8の字跳び」に取り組んでいます。

ねらいは児童の体力の向上と、学級で一つの目標に向かい団結することです。密な状態をできるだけ避けるために、全校一斉に行うのではなく、活動場所を分けています。第1回の11月11日（水）には1年生が6年生の姿を、2年生が5年生の姿を見て、見習えるようにしました。また3・4年生は記録の発表をしてこれからのモチベーション向上につなげていました。様々な活動が制限される中ですが、体を動かし元気に過ごせるように指導しています。

また、今回は5・6年生の運動委員会が撮影した動画で、大縄を上手に跳ぶためにポイントを紹介しました。

- ①縄を回す人の横に整列すること
 - ②列の間を空けず、連続して跳ぶこと
 - ③縄の真ん中で跳び、前の方に着地すること
- <運動委員会の動画>



その他、週に1回程度、朝の活動「クラスタイム」でも大縄の計測をしていて、記録の向上に努めています。休み時間も各学年で遊び場が分かれているために、より多く跳べるように挑戦しています。

<休み時間の様子>



これからも児童の体力向上に向けた取り組みを行っていきます。

12月の予定

日	曜日	行事・予定
1	火	クラブ活動
2	水	B時程 4時間授業
3	木	安全指導日
4	金	
5	土	土曜授業日 学習発表会（3年）
6	日	
7	月	全校朝会 委員会活動
8	火	B時程
9	水	のびのびタイム 避難訓練（一斉下校） 心臓検診（1年・対象者）
10	木	
11	金	B時程
12	土	
13	日	
14	月	全校朝会
15	火	
16	水	さわやかタイム
17	木	大工さんを迎えての図工授業（4年）
18	金	大工さんを迎えての図工授業（4年）
19	土	土曜授業 学習発表会（5年）
20	日	
21	月	全校朝会
22	火	なかよしタイム
23	水	児童集会
24	木	
25	金	終業式 大掃除 給食終 4時間授業（1・2年） 5時間授業（3～6年）
26	土	冬季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

住 所：〒106-0031

東京都港区西麻布3-11-16

電 話：03（3404）1530

FAX：03（3408）4079

E-mail kougai-es@minato-tyky.ed.jp